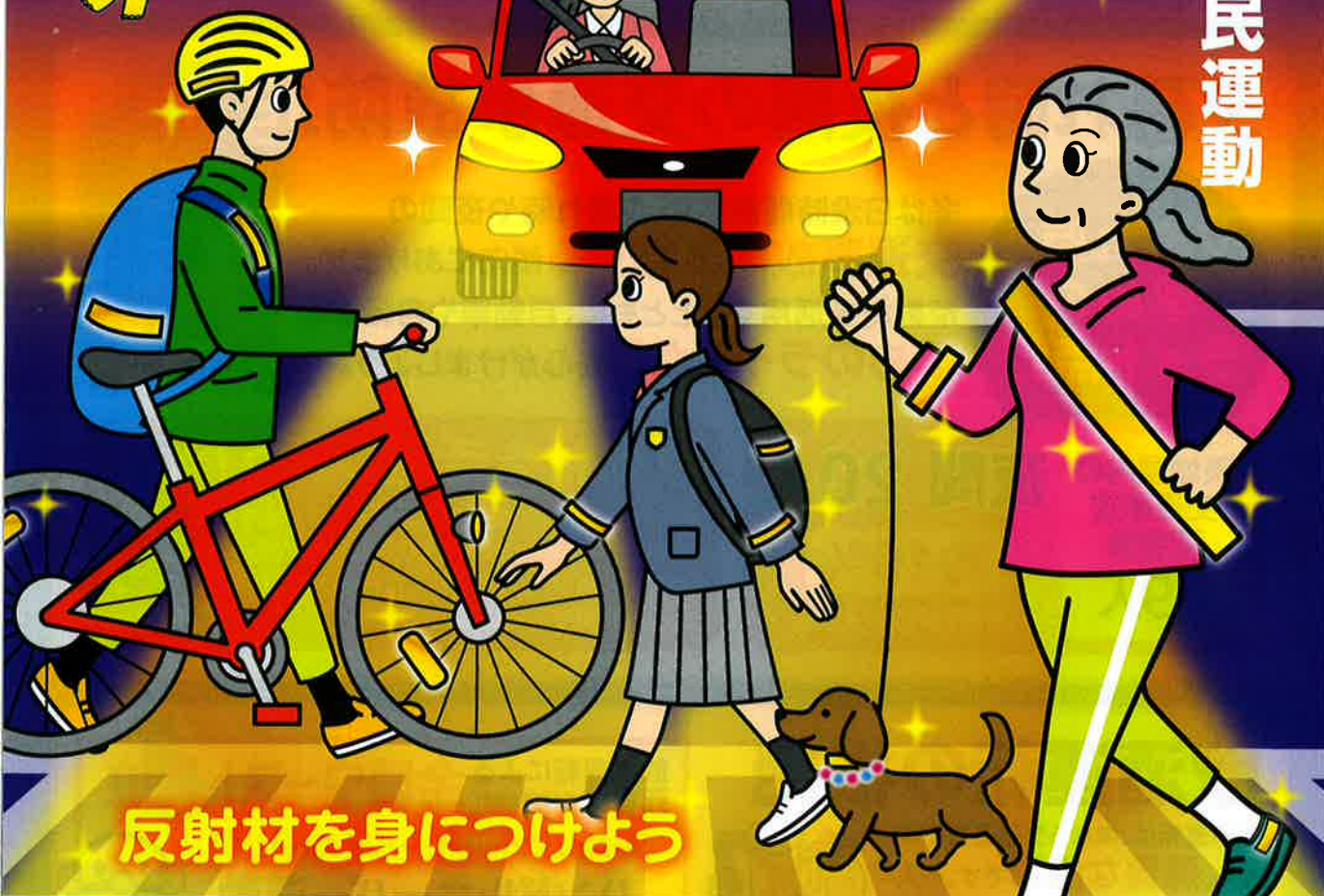


年末の交通事故防止県民運動

Light up!

自分から つけるライトで 消える事故

令和7年
12月1日月▼15日月



つくば市交通安全対策協議会・つくば市

自分からつけるライトで消える事故

横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上

その手で合図！止まってくれてありがとう

横断時に合図をすれば、ドライバーは歩行者に気づきやすくなります。また、会釈などで感謝を示せば、ドライバーの優しい気持ちが育まれ、横断歩行者保護意識の向上につながります。



こどもや高齢者を交通事故から守りましょう

横断歩道は歩行者優先。

歩行者等がいる場合または、横断しようとしている場合は**必ず停止**しましょう。

歩行中に亡くなった方のうち、道路横断中の交通事故死者が**約7割**を占めています

(令和7年1月～8月末)

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

夕暮れ時は
早めの
ライト点灯

冬は日没時間が早く、夕暮れ時や夜間の交通事故が多発する傾向にあります。

反射材を活用するとともに、自動車や自転車の**早めのライト点灯**を心がけましょう。



茨城県内の
交通事故
死者数
49人

夜間 20人

約40%

(令和7年1月～8月末)

反射材を活用しよう！

歩行者が横断中の交通事故が多発しています。交差点では信号を守るとともに、横断歩道でも走行車両がないことを確認してから渡りましょう。また、反射材を活用しましょう。



飲酒運転の根絶

飲酒運転は、単なる交通違反ではなく、**悪質な犯罪**です。一人ひとりが「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意思を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。



発生件数 5件

飲酒運転による死者数 (令和7年8月末) **全国ワースト2位**

帰りはハンドルキーパーに任せて！

ハンドルキーパー運動

自動車で飲食店に行き飲酒する場合に、仲間同士や飲食店の協力を得て、飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人は酒を飲まず、仲間を自宅まで送り、飲酒運転事故を防止する運動です。

